

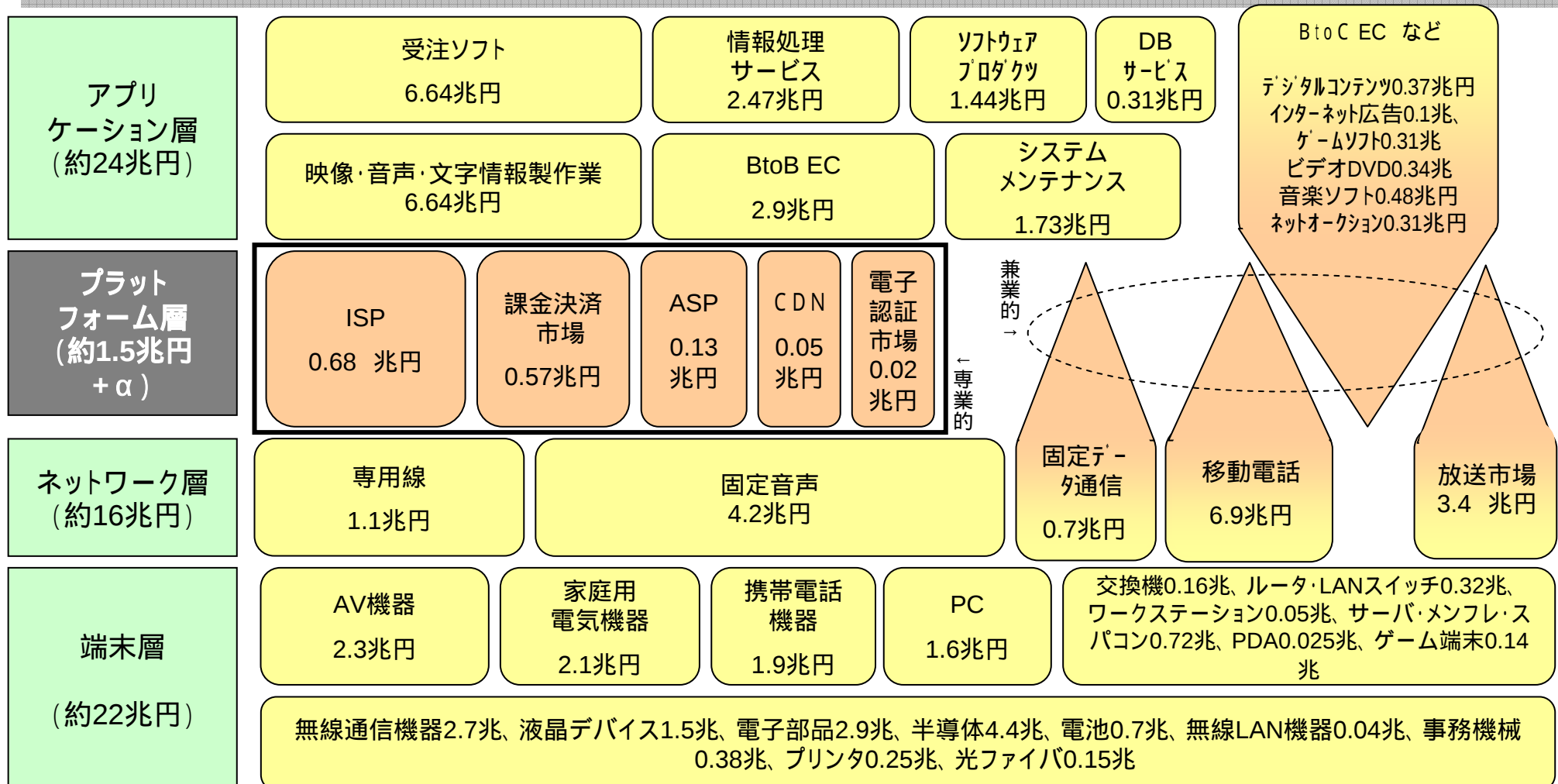
プラットフォーム層の 市場規模について

2005年4月7日
事務局

1 プラットフォーム層の市場規模

ICT産業における「プラットフォーム層」の市場規模は、他の層に比べると小規模にとどまる。

- 他層との区別が容易なサービス(専門的) : ISP、課金決済、ASP、電子認証等 → 計1.5兆円程度
- 他層と垂直統合されたサービス(兼業的) : 携帯電話等と一体化したサービス



参考: 産業構造審議会情報経済分科会第1回(2004.12)資料、野村総合研究所「これからの情報・通信市場で何が起ころのか(2005年度版)」をベースに便宜的に分類したもの
値は原則として2003年度のもの(一部2002年度のものを含む)

【参考】プラットフォーム層の市場規模算出の考え方

各市場の規模は、プラットフォーム層が生み出す「付加価値額」の合計として試算。

取引対象となる財・サービスの取引に際して支払われる利用料や手数料等の合計(取引対象自体の価額を含まない)。

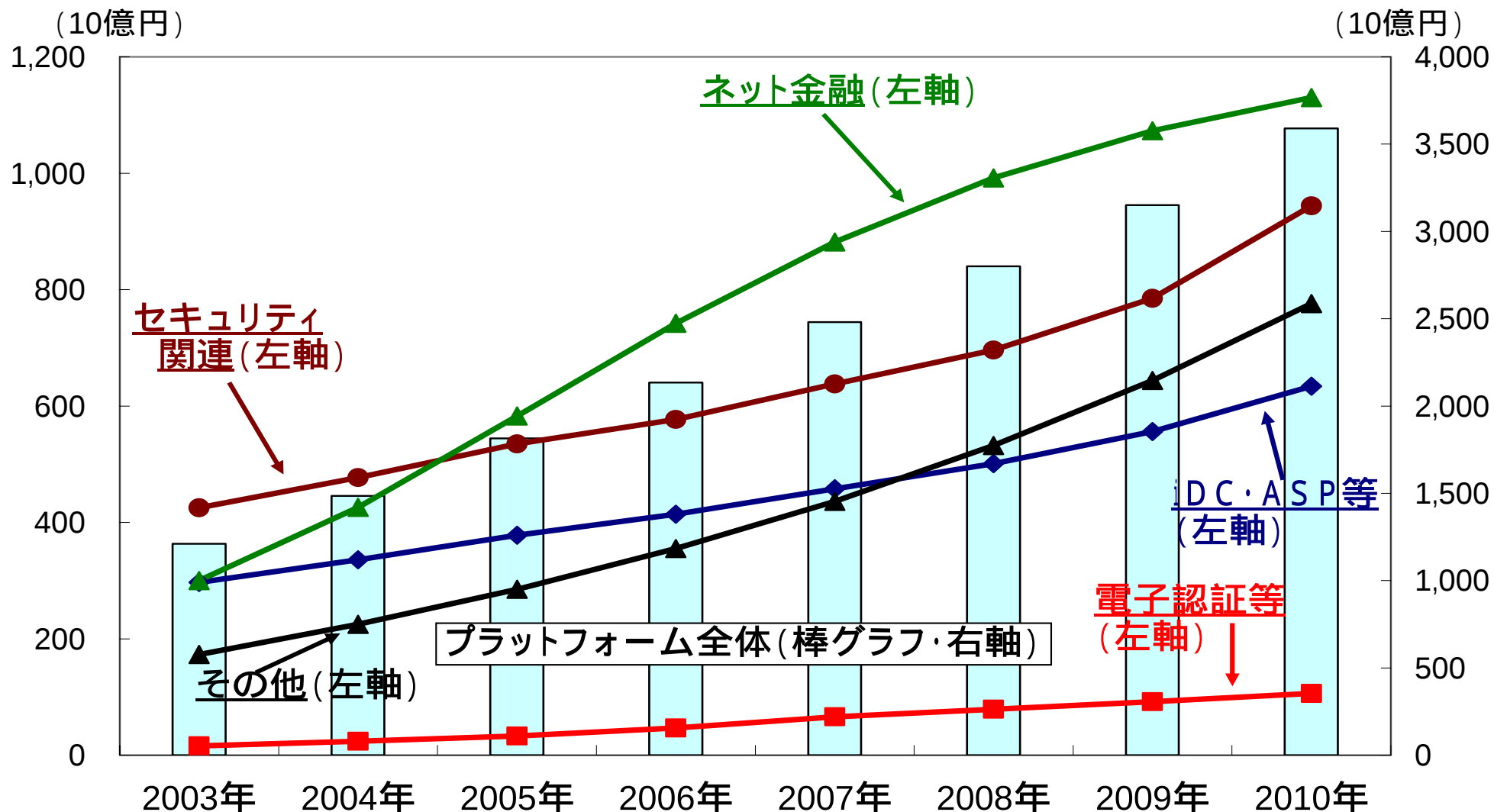
市 場		考 え 方
専 業 的	課金決済市場 0.57兆円	インターネットなどで商品などの購入が行われる際(BtoC)、本来第三者である決済機関が取得する手数料等。
	電子認証市場 0.02兆円	ユーザやサーバを電子的に認証するシステム及び証明書の発行・管理などのサービスに係るもので、証明書発行手数料や周辺システム投資額等。(ICカード費用は含まない。)
	ISP 0.68兆円	インターネット接続(プロバイダ)サービスの利用料。
	ASP 0.13兆円	国内アプリケーションアウトソーシングサービスのうちアプリケーションマネジメント以外のものの利用料。
兼 業 的	固定データ通信 (0.7兆円)の一部	ADSL等ブロードバンドサービスの利用料等。
	B to C、EC など (1.9兆円)の一部	ゲームソフト、音楽ソフト、デジタルコンテンツ、ネットオークション等の利用料、手数料等。
	携帯電話、放送 (10.3兆円)の一部	携帯音声伝送、携帯データ伝送、NHK、民放、ケーブルテレビ等の利用料、手数料等。

アプリケーションの利用料等
と一体化しているケースが多

参考:野村総合研究所「これからの情報・通信市場で何が起ころのか(2005年度版)」等を参考に、事務局で作成

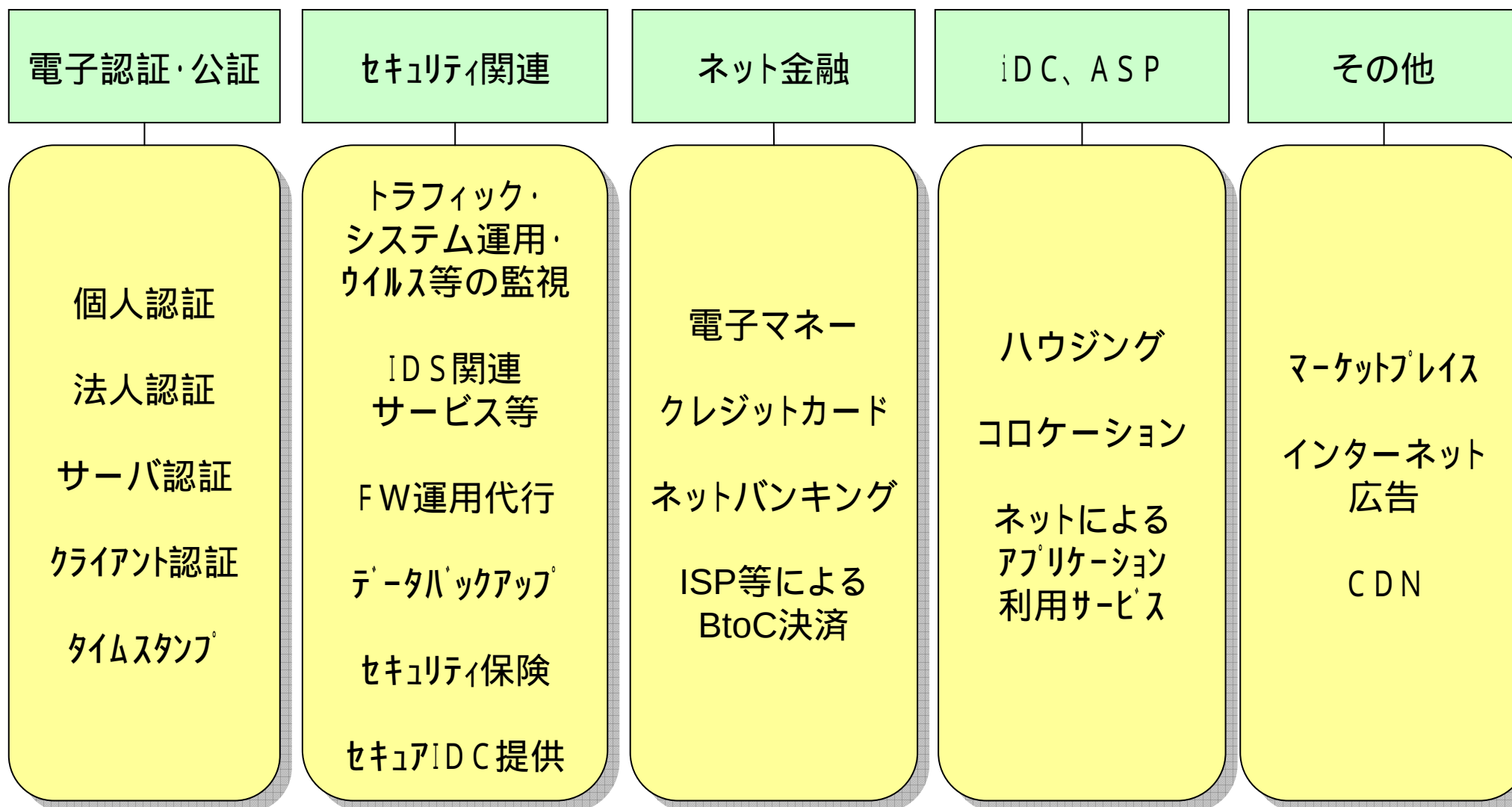
2 プラットフォーム層(要素部分)の市場規模予測 (情報通信白書より)

プラットフォーム層(専門的な部分のみ)の市場規模は、2010年には2003年の約3倍に成長すると予測
1.2兆円(2003年) → 3.6兆円(2010年)



【参考】 前述の市場規模予測における「プラットフォーム層」の構成

「高度情報通信ネットワーク環境を活用するにあたり、共通基盤的に提供されるサービス(特にデジタルデータを扱うサービス)」として、以下の5分野の市場を抽出して、その市場規模を試算。

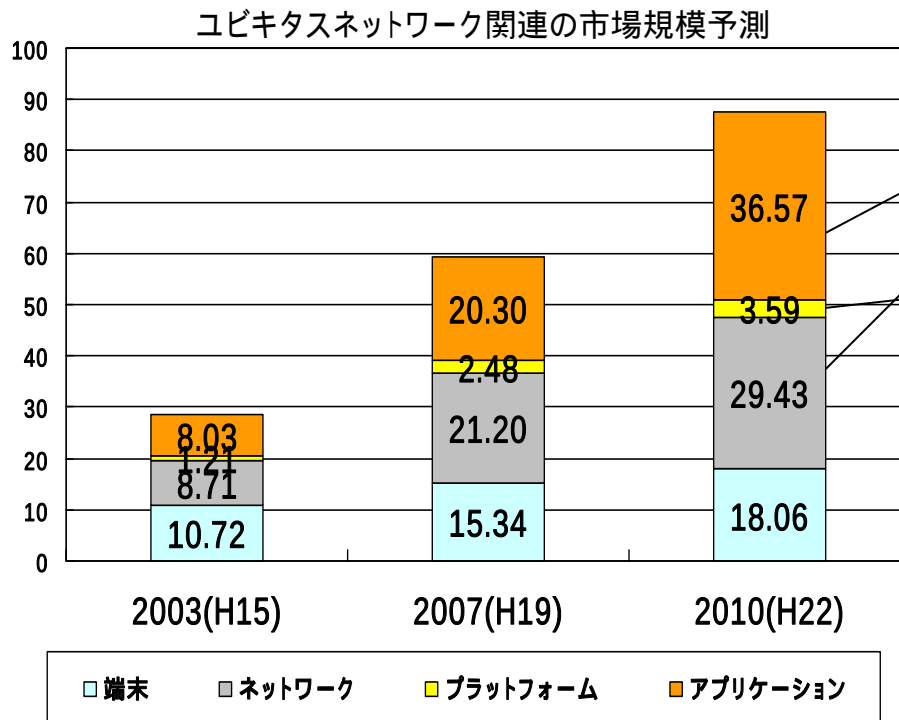


【参考】 前述の市場規模予測における算出方法

財・サービス		算入部分
電子認証・公証	・電子認証(個人認証、法人認証、サーバ認証、クライアント認証) ・電子公証(文書作成時刻証明を基本とした電子公証サービス)	利用料 手数料
セキュリティ関連	不正アクセス/ウイルス監視、FW運用代行、トラフィック監視、データバックアップ、システム運用監視、セキュアIDC提供、セキュリティ保険、IDS関連ログ解析サービス、ソフトウェア	利用料金、購入者価格
ネット金融	・電子決済(電子マネー、クレジットカード、ネットバンキング、ISP等によるBtoC決済、非接触型ICカードを介した電子マネーによる実店舗による決済)	手数料
	・インターネット金融(ネットワークバンキング(上記の電子決済分は除く)、株式取引・投資信託)	手数料
IDC・ASP	・IDC(ハウジング、コロケーション、付加サービス) ・ASP(ネットによるアプリケーション利用サービス)	利用料 利用料
その他	・マーケットプレイス(マーケットプレイスをネット上に設置し、出店舗を支援するサービス)	利用料
	・CDN(効率的コンテンツ配信支援サービス)	手数料
	・インターネット広告(モバイル広告を含む)	作成費、媒体費

3 プラットフォーム市場の今後の動向

- 今後のユビキタスネット社会の発展のためには、プラットフォーム層の充実を通じて、アプリケーション層やネットワーク層の活性化に寄与することが期待される。
【論点】 → 専門的プラットフォーム自体の市場規模も大きく進展するか？
→ 兼業的プラットフォームの充実により、アプリケーションやネットワークと一体的な形で発展していくのか？
- 今後のプラットフォーム層の充実に向けて、専門的プラットフォームと兼業的プラットフォームのメリット・デメリットを十分に吟味していくことが必要。



アプリケーション層やネットワーク層が大きく成長する見込み
(兼業的プラットフォーム層を含む市場規模)

プラットフォーム層(専門的なもののみ)の成長は限定的？

【プラットフォーム層充実のための環境要因】

- ・ブロードバンドの進展
- ・ユビキタスネットワークの進展
- ・課金認証等の一般化
- ・電子商取引の普及
- ・情報家電の飛躍的発展
- ・医療・教育等の公共的プラットフォームの発展
- ・コンテンツ流通の爆発的拡大
- ・アプリケーション層やネットワーク層との円滑な統合化
- ・プラットフォーム間の活発な競争

等

(出典)平成16年版情報通信白書より作成。ICT産業からユビキタスネットワーク関連のみの市場を抽出していることに注意。